

瀬戸内トラストニュース

94年 9月

環瀬戸内海会議

編集・発行/ 編集委員会



<9月25日 東広島で立木トラストはじまる>

1年半ぶりに、ゴルフ場予定地での立木トラストです。

東広島市西条町は、広島大学・マツタケ・日本酒などで知られています。

ここに18ホール、223haのゴルフ場計画が、持ち上がっています。

9月25日の札掛けの日、参加したオーナーの人達は、赤く実ったアケビに歓声を挙げたり、山の元気をいっぱいもらって帰りました。

黒瀬川の源流、松板川の清流を、子どもたちに伝えたいと、地元の人たちは「松板川トラスト」と名前を付けました。

この秋、瀬戸内トラストは「立木バンク」方式で、他に2か所のトラストを始めます。 (5P参照)

立木バンク設立を決定

環瀬戸内海会議 副代表

(岡山) 松本 宣崇

瀬戸内海沿岸各地のゴルフ場計画予定地の立ち木を買い取り、立ち木トラストを進めてきた「環瀬戸内海会議」の第五回総会が5月21～22日、広島県上下町矢野温泉で開催され、瀬戸内各県から四十団体約百名が参加した。

環瀬戸内海会議は90年6月結成以降、瀬戸内各地で立ち木トラストを進め、五千人のオーナーを得、一万三千本をトラスト、八県十五ヵ所のゴルフ場計画を中止に追い込んだ。猫も杓子もリゾート開発に血眼になったときが潰えたいま、昨年一年間ゴルフ場建設は沈静化し、新たにトラストを始めた地域はない。

そんななか、オーナーにアンケートしたところ、保有資金の活用も含め、ゴルフ場だけでなく自然破壊をもたらす乱開発の阻止や、森の再生運動への拡大を求める声が圧倒的であった。(アンケート結果は次頁参照)

阿部代表は「せっかくゴルフ場を阻止した山々に、廃棄物処分場が造られようとしている。ゴミもゴルフ場も都市の問題であり、開発の根っこはいっしょ。ねっこを押さえよう」と、「立ち木バンク」の方針を提起した。これは、オーナーの皆さんのトラストに対する理解と、何よりも環境を守っていきたいという意味を大事にし、結成当初の「瀬戸内海を毒つばにしない」という目的にゴルフ場のみならずより多角的に取り組んでいくという立場から、提案されたもの。いわば立ち木トラストの第二段階です。

「立ち木バンク」は、差し迫った開発計画がなくても立ち木を買い取るオーナーの募集を続けて出資金を事前にプールし、機動的に利用し、ゴルフ場はもちろんのこと産廃処理場やダム建設の反対などの広く環境保護運動や森の再生運動に支援の手を拡げていくことを目的とした制度です。当面、バンクとしての預かり期間は設けず、環瀬戸内海を対象地域とし、参加者の希望を反映した地域にトラスト出来るよう、事務局で対応します。オーナーの意思を大事にし、トラスト現地とのより密度の濃い情報交換を提供できるよう努力していきます。

すでに、廃棄物処分場計画の持ち上がっている徳島県池田町、広島市安佐北区白木町、広島県三和町や森の再生運動への取り組みが進む香川県三木町が、「立ち木バンク」の検討対象として上がってきています。

森林を乱開発から守り育み、後世に残すため、そして「瀬戸内海を毒つばにしない」ために、「立ち木バンク」に心と浄財をお寄せ下さい。

立木トラスト・アンケートについて

環瀬戸内海会議 トラスト事務局長

(熊本) 船木 高司

前号で「立木トラスト」についてアンケートをお願いしましたが、全部で 368 通の回答をいただきました(発送総数は約 3,500 通)。まずは回答いただきましたみなさまにお礼申し上げます。

質問は 2 点ありました。1 つは「立木バンク」の賛否。2 つ目は「立木バンク」の用途でした。「立木バンク」かどういものかはっきりさせないままご回答いただくことに無理な点もありましたが、少なくともオーナーのみなさまが「まだ立木トラストを続けよう」と考えておられることは明確になったと思います。また用途については、「自然破壊をとまなうあらゆる開発反対に使う」という意見と、「森の再生運動に使う」という意見がほぼ同数ありました。

I. 立木バンクについて

賛成	無記入	反対
319	31	18



II. 立木バンクの用途(複数回答)

自然破壊を伴う開発の反対に	260	ゴルフ場の反対のみに 廃棄物処分場反対のみに	17	14
森の再生運動に	290			

このアンケート結果は今年度の総会で報告され、みなさまの意見を踏まえて、今年度から『立木バンク』を発足させることになりました。

また、自由意見の欄には半数以上の方が意見を記入しておられました。これらの意見はすべて総会の際配付いたしました。これからの環瀬戸内海会議の活動に生かしてゆきたいと思ひます。

- アンケートから (1)
- ◎ ゴルフ場はストップされても残された問題も多いですが、地球規模の大きい見方でこれからもいろんな活動が続けて行く事が大事だと思います。ぜひ続けて下さい。協力します。 - 愛媛・真鍋さん
 - ◎ ゴルフ場と処分場、つながってきましたね。みなさんの活動に心からの連帯を抱いています。 - 東京都・田島征三さん
 - ◎ 一人一人の努力が大きな力になると思います。頑張ってください。 - 三鷹局 Aさん
 - ◎ 緑の保全が人類の生きる道です。 - 奈良中央局 Bさん
 - ◎ 今程、地球が SOS を出している時代はなかったでしょう。何と少しでもわずかな力でも集め、地球の命を守らねば... 人ばかりの地球ではない。 - 山口小川局 Cさん
-

報告 — 第5回 環瀬戸内海会議 総会

'94年5月21日～22日

今年の総会は、「誰故草のトラスト」でゴルフ場を止めた広島県の上下町で開かれました。上下町ではゴルフ場が撤退した後も、その時の若い人達を中心にNABAランド（“なば”というのは中国地方のキノコの総称）を始め、ログハウスをみんなで手作りしたり、シイタケ栽培をしたりという、面白い町おこし活動を続けています。

ここ1年はバブルの崩壊で、新たにトラストを始める所はなかったのですが、ゴルフ場にかわり、ゴミ処分場、産業廃棄物処分場などへの不安がでてきています。これまでのゴルフ場を止めるためのトラストだけでなく、先を見通してのトラスト（自然を破壊する開発を止める、森林の保全と再生をしていく等）へという「立木バンク」構想が討議されました。そして実際に、徳島県池田町のゴミ処分場計画、香川県三木町のドンダリの森づくり等が報告されました。また、広島市の白木

町でもゴミ処分場計画が問題になっていますが、ここもトラストをやれないかということで、白木町の方々も参加されました。

「立木バンク」— これからどう始めていくか、事務局としては不安もありますが、どう使っていけるか楽しみな気もします。

各地からの報告は、なかなかおもしろくもって知りたいぐらいでした。記念講演は森住明弘さんの「公害時代から環境時代へ」でした。「公害問題という視点でとらえると、問題の本質である“しくみ”に気づかなくなりお金で解決されてしまう。しくみに気づきそれを変えていたためには、自分達でそのしくみを作るという発想で、技術的しくみ、制度的しくみ、経済的しくみを学ぶことが肝心」というお話で、「立木バンク」も、そんな“しくみ”の一つとしてやってゆけるのでは、と思いました。

(広島事務局 岸本久美子)

'93年度('93.4.1～'94.3.31)会計報告

収入 立木トラスト会計

費目	金額	備考
トラスト代金	1,807,500	@1,500 × 1,205 本
雑収入	1,200	トラスト・ニュース 売上
寄付金	12,333	
利息	64,995	定期解約利息等
繰越金	1,488,033	前年度繰越
合計	3,374,061	

支出

費目	金額	備考
立木代局	794,400	@ 800 × 993 本
事務	78,174	ゴム印 29,385 等
事務	260,000	「森水事務所へ」
現地	12,600	@ 200 × 63 本
通信	100,340	切手代金・電話代等
交通	102,370	副代表者会補助等
交會	661,077	No. 6, No. 7
會費	12,000	全国交流集會
振込	1,465	
振替	5,000	中島へ送金
払金	-10,000	森水事務所小口現金
合計	2,017,426	
差額	1,356,635	次年度繰越

収入 一般会計

費目	決算	備考
会費	140,000	20団体、28口
資料販売	45,000	5団体
前期繰越	25,000	ハガキ 売上 (直島)
計	144,404	
計	354,404	

支出

費目	決算	備考
通信	56,041	總會案内等補助
交通	42,358	大会等出席補助
事務	85,320	コピー代等補助
總會	50,000	大分總會補助
その他	58,240	大島集會補助
	11,103	代表者會会場費
合計	303,062	
次期繰越	51,342	

1993年度会計監査報告

1993年度決算報告に基づき監査したところ、金銭収支及び帳簿の処理は正確にされていることを認めましたので、ここに報告致します。

会計監査

前田俊英

会計監査

福岡裕夫

環瀬戸 〈上下町総会を伝える記事より〉

幸斤

乃日

第3種郵便物認可

ゴルフ場反対の 市民運動広がる

山陽 94 6/7

瀬戸内地方の水源地などに計画されたゴルフ場に反対する市民運動の輪が広がっている。五月二十一日、二十二日に上下町で開かれた環瀬戸内海会議の総会では、ゴルフ場予定地の立ち木を買い取る資金をアールズ「立ち木バンク」制度の設立を決めた。既にゴルフ場開発を阻止した地域でも、廃棄物処理場の建設反対や、広葉樹の植林、キノコ園づくりなど里山を再生する運動に支援の手を差しのべる計画だ。

広島、岡山、香川など十明した。

二都府県の有志で四年前に、住民たちは立ち木トラス「NABAランド」スタ

発出した環瀬戸内海会議ト運動を連(六十五団体、約十万人)じ、(今)ではこれまでに、二十五カ所との自然をのゴルフ場予定地で立ち木 見直した。

トラストを実施。地権者が「愛智のちら一本千五百円で立ち木をる(今)まで買い取って名札を掛け、立の土地を、

ち木の処分権を盾に十五カ所再び簡単に手放すことのないまに」と思いついたの(今)は「ゴルフ場は就職機

会を増やし、活性化につながシタケほたのオナ1制度。九一年十一月、同町矢野

町内矢野地区に持ち上がったゴルフ場計画に対し、住民が「水環境を阻害する(今)を結成し、立ち木トラスト 園し、立ち木トラストの支

運動を展開。同年中に三百援者を中心に、ほだ木ののをすべて掘り起し、ゴルフ場にしてしまふのは、人り、いずれも住民の請求が

年十二月町議会でゴルフ場も約百人の会員があり、春間のおどりとか思えな 棄却された。

反対の陳情が採択され、梶と秋にシタケや季節の野い」と話す。立ち木トラストと同様

田町長が「誘致断念」を表 菜、特産品を産地直送して ゴルフ場反対運動が法廷に、立ち木の処分権を争う



計画次々に中止

立ち木トラスト 里山再生へ支援も

ツの一人、坂永弥生さん(今)は「ゴルフ場は就職機会を増やし、活性化につな

がるというが、実際にゴルフ場ができた町に行つて話 有山の会を主張する任

告は入会権者の総会で賛賞月二十三日と六月三日に広

島地裁福山支部で判決があ(今)は「われわれはゴルフ場建設による水の汚れを問

題にしている。自主的に実

「NABAランド」の(今)になつた」との思いで運動を進めてきたとい

の参加者(今)五月二十二日 今回、上下町で開かれた同会総会では、産廃処

理場などを対象に「立ち木バンク」を活用する(今)と

に、ゴルフ場が去つた後の「里山」の復興が熱っぽく話し合

わを争う女性ネットワーれた、新や落ち葉の肥料ク」の主婦たちの呼びか

で維持管理してきた山を命を守る会(仮称)の荒廃させたことが、ゴルフ場などの開発アームを

全体に運動を広げ、公害呼んだとの反省に立つ紛争処理法に基づく調停

を真環境保全課に申請す、場反対だけでなく有機栽培農法や淡水魚の保護を

る(今)を検討する。阿部悦子さん 考えるグループも加わ

今治市(今)は、愛媛県た「芦田川水系の水を守(今)は、地

保護運動を自指すには、(今)には、地

保護運動を自指すには、(今)には、地

保護運動を自指すには、(今)には、地

保護運動を自指すには、(今)には、地



《 なんでまだゴルフ場がいるの ?? 》

松板川を守る会（広島県・東広島市）

河野 好一

私たちの住んでいる所は、広島県東広島市西条町で酒、マツタケ、三永水源地のフジ棚、広島大学のある町として有名です。また、営業中のゴルフ場が7ヶ所、計画中が3ヶ所で、この全部が完成すると1,335haとなり市の面積の4.6%にもなるという、まさにゴルフ場だらけの町でもあります。

この計画の一つに、私たちの住んでいる田舎があります。場所は呉市に流れる黒瀬川水系の上流の松板川という流域で一番きれいな川の源流で、緑の多い所です。ここにゴルフ場の話が持ち上がったのは昭和63年で、権力者（市議、区長）をまるめ込み、青年、老人会等の接待をやり、あとは水面下で計画を進めている状況です。

計画をしているのは西条カントリー(株)で、東京の不動産業者です。223haで18ホールの計画で、平成5年9月に市に事前指導申出を提出し、現在、ゴルフ場開発諮問委員会で審議しています。

私たち会員は、ゴルフ場開発をストップさせるためにはどうすればよいかわかりませんでした。今までに広島県ゴルフ場問題連絡会、他の地域で運動されている方、それに上下町の環瀬戸内海会議の総会でのみなさんの話や意見を聞き、これならゴルフ場は必ずストップできると確信しました。また、運動されている皆さんの目が生き生きとされているのには感心もし、感動もしました。やはり自然を愛することとは素晴らしいことだと思っています。

ゴルフ場を一日も早く中止に追い込みたいと思っています。反対されている地権者の方もいます。みなさまの協力をよろしく願いいたします。私たちも自然、田舎が大好きです。

立木バンクで、
一新しくトラストを

私は広島駅からJR芸備線で約1時間、白木町というところに住んでおります。今、広島市は、この私の町の大谷という谷間に広島市全域のゴミを75年間も埋め立てるといふ壮大な計画を進めています。75年間といえば大正、昭和、平成の今日にいたるまでの途方もなく長い期間にわたって埋め続けるという空恐ろしいことです。

《 ふるさとをゴミで

中国新聞(H5.10.4)によれば、「全国的にもこのような75年間のゴミ埋立は前例がない」と厚生省環境整備課が言っています。それに民家の200m~300mのところから埋め立てるといふのですから、まったく信じがたいことです。

私はこの地に生まれ、育ち、おいしい水を飲み、その水で農家の人達は米を作っています。この大谷のきれいな水は榮堂川に流れ出て、三篠川をへて、最後には太田川へと流れ込み、広島県・市民の飲み水を供給しています。

“森は海の恋人”といひます。森は水のラブレターを海へ届けてゆきます。豊かな海にしたければ、川を自然にかえし、水源を守り、森林を大切にしなければなりません。限りある財産を大切にしたいですね。

《 ごみ最終処分場反対 立木トラスト実施 !! 》

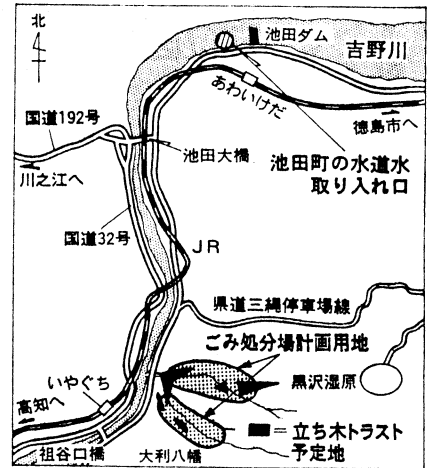
きれいな水と命を守る会（徳島県・池田町）

工藤 政幸

三好郡行政組合清掃センター（7ヶ町村加盟）が池田町大利地区の2ヶ所の大きな谷を埋め尽くす巨大な一般ごみ最終処分場の建設計画をひそかに進めています。総面積は23haで30年間埋め立て可能。平成7年着工、同10年完成予定です。

このごみ処分場建設予定地の4km下流には、池田町の水道水取り入れ口があり、将来、飲料水汚染による人体への影響が心配されます。

ごみを燃やしてただ埋めるだけという安易な処分方法は、単なるごみ隠しに過ぎず、危険かつごみ問題を先送りしているだけです。ごみは徹底的に分別収集してできる限りリサイクルし、リサイクルできないものは買わない、作らせない資源循環型の社会を構築していかなくてはなりません。ごみ減量のための何らの努力をせず、ごみ処分場さえ造ればごみ問題が解決するような三好郡行政組合清掃センターのやり方は完全に間違っています。



私たちは、瀬戸内海にそそぐ清流「吉野川」を有害物質を含むごみの汚染から守り、池田町のすばらしい谷が処分場建設によって埋め立てられるのを防ぐため、6名の地主さんの協力を得て、立木トラストを実施することになりました。全国の皆さん、ご支援の程よろしくお願ひします。

山を守ります
始める現地よりー

埋めないで !! 》

西川一恵子（広島県・白木町）

いつ頃のものかわかりませんが、庭先の古く珍しい「いちょう」の木を見られた方が「このいちょうの木が自然を守りなさいと西川さんに語りかけ、あなたを動かしているのかもしれないね」と話されました。その時は笑っていましたが、今になって思えば、そんな気がしてきます。最近はずらず知らずのうちに彼女に「ただいま。きっと頑張るから応援してね。」と話しかけるようになりました。

自然を守ろう、地球にやさしい生活をという時代の流れに逆行するかのようただ埋め立てればよいという安易な行政の考え、そしてこの民主主義の世の中に民意を無視するやり方に強く憤りを覚えます。

この大谷は太田川上流の水源です。最後には広島県・市民の水道水となります。水源をゴミの埋立地にするなど絶対に認められません。

皆様の自然に対する熱い思いを一本一本の木に注いでいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地下水はどのように汚されるか

(ゴルフ場下流の硝酸性窒素による汚染)

水を守る女性ネットワーク (広島県・新市町)

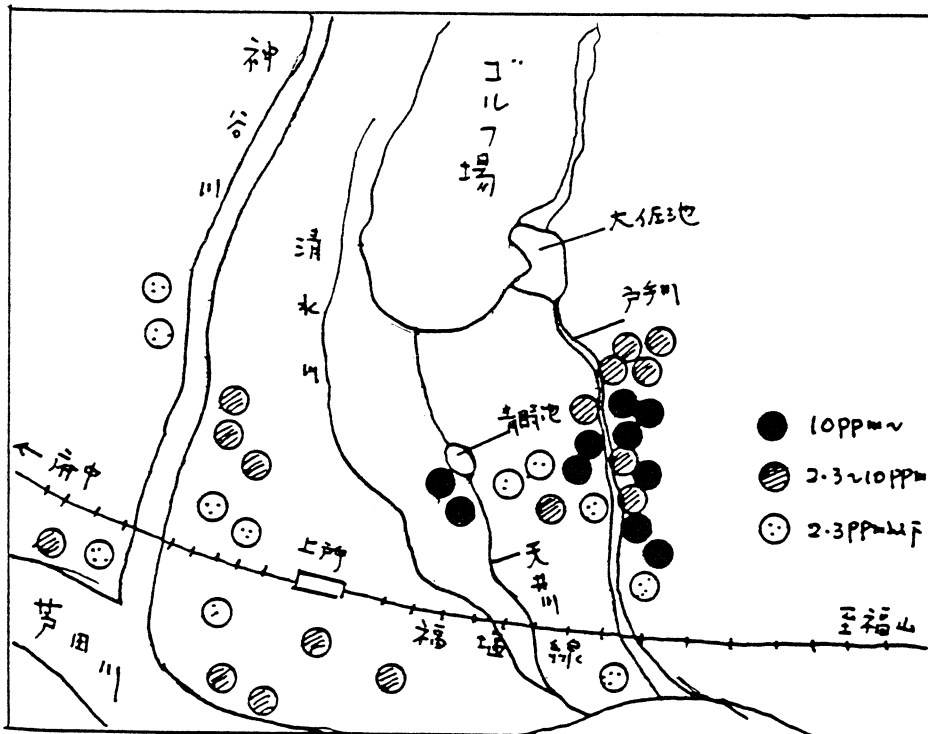
林 勤

新市クラシックゴルフクラブの造成工事が始まったのは '90年6月であった。その年の10月、台風がやってきて、戸手川流域で井戸水が濁った家が出た。地下水がゴルフ場とつながっていることを示した。工事が原因であることを認めて業者は飲料水を配ってまわった。そのことは、農業や化学肥料がまかれると、井戸水が汚されることを予告していたことになる。

私たちがパックテスト法による水質検査を始めたのは '91年12月からで、以後は毎年、2月、5月、8月に40~60ヶ所の井戸水を検査している。

検査項目はPH、COD、アンモニア、亜硝酸、リンであった。硝酸性窒素を検査に加えたのは '92年8月からである。水道水質基準をこえる硝酸性窒素は '92年8月に1ヶ所、'93年2月12ヶ所、5月11ヶ所、8月6ヶ所、'94年2月15ヶ所、5月10ヶ所となっている。

硝酸性窒素汚染分布 1994年2月28日調査



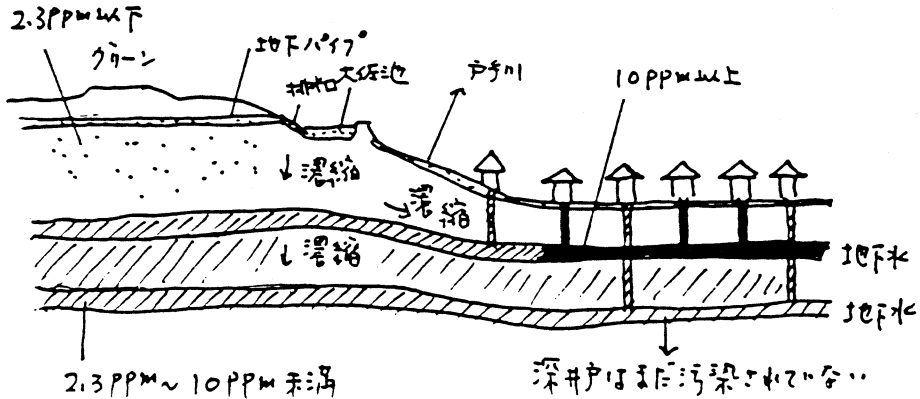
左の図は '94年 2月のものである。地下水量の多い、少ないで濃度は変わる。

分布図から、ゴルフ場とつながった地下水が汚染されていることが推定される。

硝酸性窒素が体内に入ると、酸素欠乏症をおこし、鈴木教授（滋賀大）の「琵琶湖のほとりから地球を考える」という本によると、ヨーロッパでは、乳幼児の死亡例があったと書いてある。

どんなしくみで地下水は汚されるのか。排水口ではそれ程含まれていない硝酸性窒素がどうして下流域で井戸水を汚すのか、そのしくみを示したのが下の図である。

地下水の汚染のようす（硝酸性窒素）



COD は排水口で50ppm、大佐池で10ppm、戸手川では 5ppm というようにうすくなる。ところが硝酸性窒素は地下に浸透して地下水を汚染するのだから、しくみが全く違うのである。

硝酸性窒素(NO_3^-)は、粘土にも吸着されず、水に溶けて地下に浸透していく。水は地下でも蒸発している。そのことは弘前大学の酒井軍次郎教授が“地下水学”の中で述べている。地下で石コウの結晶ができる現象も同じ原理によるものである。地下に浸透し、地下を下流に流れながら水は蒸発し、濃縮されていくのである。それを模式的に示したのが上図である。

左のページの図の●は基準を越えて汚染された地下水を示している。◎は 2.3~10ppm、⊙は 2.3ppm 以下を示している。汚染されているのは、排水口から 1,000m ~ 2,000m の範囲の浅井戸である。深井戸はまだ汚染されていない。

最近、山梨のぶどう園付近、岐阜県ではニンジン畑付近が硝酸性窒素で汚染されていることが報じられた。いずれも化学肥料によるものであった。

この林さんの調査は地下水汚染の状況だけでなく、硝酸性窒素が濃縮されて地下の井戸水を汚染するメカニズムを明らかにした点で画期的でした。今回の総会で報告されるまでは、こうした報告をこれまで目にしたことはありません。ゴルフ場に反対する有力な根拠として今後は活用してゆきたいと思えます。

異常渇水に備えて「里山トラスト」のすすめ

環瀬戸内海会議 顧問
山田 國廣

歴史的な異常気象と渇水である。どれくらい異常なのか。どうすればいいのか。少し、頭を冷やして整理してみよう。

関西地域のデータによると、琵琶湖の水位低下は9月6日現在、マイナス112cmで観測史上最低、雨量は120年に一度の少なさである。大阪では39.1度という最高気温を観測した。30度以上の連続真夏日や、夜が25度以上の連続熱帯夜も記録を伸ばしている。西日本ではどこもよく似た事情である。

「水が無い」という便りが各地から届いているが、それはどういう意味かを吟味する必要がある。8月のはじめ、琵琶湖に通じている野洲川でおもしろい光景を見た。野洲川にはすでに水がなく川底が無残に干上がっていたが、その側にある幅が1m程度の水路には滔々と水が流れていた。農業用水として井戸水を汲み上げているのである。そのおかげで、周辺の水田は青々としていた。

一部の山間地では渇水により米の被害が報告されているが、平均的に見れば今年は豊作である。歴史的な大渇水と豊作が同居しているのは奇妙なことではあるが、裏返せば地下水利用など長年の知恵の結果なのであろう。

地下水はどこから来るのか。今汲み上げる水は、深い井戸の場合は数十年前、浅い井戸の場合は数十日前に降った雨の可能性もある。河川上流に森林や田畑が広域に存在している流域ほど、地下水は豊富である。「地下水を涵養する」とは「流域の中流、上流の森林と田畑を保全して水循環をつくる」ことである。ゴルフ場は1ヶ所で100ha以上の膨大な面積になる。かつては地下水が豊かな流域であったところでも、ゴルフ場が増えてくると地下水が枯渇してくる。

地下水の恩恵を受けるのは、上流よりも下流の都市住民である場合が多い。その恩恵は、上流の住民が森林や田畑を保全してくれているお陰である。里山トラストはゴルフ場などの乱開発から地下水と流域を守ることができる有効かつ実践的な手段となっている。

水は汚れても、浄化さえすれば何度でも利用できるおもしろい物質である。地下水を循環させ、汚れた水を浄化して循環利用する。渇水対策の極意は「循環」である。

1994年6月、北斗出版から『里山トラスト—一本の立木が地域と都市をむすぶ—』(2,500円)が出版されました。この本では、環瀬戸内海会議の活動を中心に、全国のトラスト運動の実践的なノウハウ、里山と人間の係わり、雑木林の生態系の役割などが紹介されています。ぜひ、ご一読下さい。



瀬戸内トラスト4周年記念集会

立木バンクで

瀬戸内の山と海を守ろう

- 日時 11月26日(土)・27日(日)
場所 広島聖母幼稚園ホール
会費 ¥9000円(2日間の宿泊、食事付き)

26日14:00～講演・宇井 純氏(沖縄大学教授)
『瀬戸内の水環境』
報告・白木町ゴミ処分場(西川恵子)
対談・宇井 純 / 阿部 悦子(環瀬戸代表)
交流会

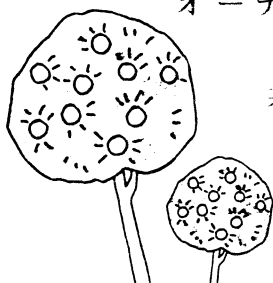
27日10:00～白木町でゴミ処分場反対の立木トラスト札かけ
(～14:00)

オーナーの皆様へ〈記念集会へのお誘い〉*****

4年間の瀬戸内トラストの成果を喜び合い、運動のこれからを共に語りませんか? お申込み・お問い合わせは下記まで。

TEL・Fax 082(296)1444

環瀬戸内海会議事務局



..... アンケートから(2)

- ◎だれでも参加しやすい立木トラストの企画はとて面白いと思います。 -神戸市 大沼さん
◎市民菜園的あるいは市民の森の運動で環境破壊と戦うというのは楽しいですね。 -岡山市 滝浦さん
ハイキングにも行きたいですね。
◎是非、続けて下さい。いつ又開発が始まるか分かりません。準備があれば安心です。 -益田市 石川さん
◎自然を残す運動というのは、破壊するよりはるかに大変な作業である。
根気強く頑張って下さい。 -川崎市 鈴木さん
◎最良の方法として高く評価出来るものと信じています。 -松江局 Dさん
◎ガンバロウじゃありませんか! -大津中央 Eさん
◎自然再生の為に、立木バンクを長期的に続行する事が大切のように思う。 -広島中央 Fさん
◎誰でも参加できる自然保護運動として拡大してゆきたいです。 -大阪旭局 Gさん
◎今後も継続的な運動をやっていきましょう。立木トラストは環境問題に目を向ける
きっかけになります。 -須磨北局 Hさん
.....

ひとこと

ニュース百科

自然保護の観点からゴルフ場やごみ埋め立て処分場、ダムなど建設予定地の立ち木を買って建設計画をストップさせる「立ち木トラスト」運動を効果的に進めていくため、立ち木の買い取り資金を事前に蓄えておくというシステム。

ゴルフ場の開発阻止運動などを進めている自然保護団体「環瀬戸内海会議」（会員約十万人）が、全国で初めて発足させた。バブル崩壊以来、ゴルフ場建設は下火になっており、ごみ処分場やダムなどに対象を拡大して将来の開発計画に素早く対応するのが狙い。立ち木一本分の千五百円を一口としてオーナーを募る。

同会議は一九九〇年に運動を開始して以来、瀬戸内海沿岸の二十五カ所のゴルフ場建設予定地で約一万二千本の立ち木を買い、計十五カ所で計画中止や凍結に追い込んでいる。

(愛媛新聞 '94.6.21)

もくじ

立木バンク設立を決定	環瀬戸内海会議 副代表	松本宣崇	1
立木トラスト・アンケートについて	立木トラスト事務局	船木高司	2
第五回総会(広島県・上下町)報告・会計報告	事務局		3
“ゴルフ場反対の市民運動広がる”	山陽新聞	('94.5.23)	4
なんでまだゴルフ場がいるの	松板川を守る会(広島)	河野好一	5
ごみ最終処分場反対	きれいな水と命を守る会(徳島)	工藤政幸	6
ふるさとをゴミで埋めないで!!	(広島)	西川恵子	5-6
地下水はどのように汚されるか	水を守る女性ネットワーク(広島)	林 勤	7-8
異常湧水に備えて「里山トラスト」のすすめ	環境監査協会代表	山田國廣	9
瀬戸内トラスト4周年記念集会	事務局		10

編集後記

暑くて長い夏でした。オーナーの皆様お元気ですか。この夏、瀬戸内地方は深刻な「水不足」に悩まされました。先日、立木トラストでゴルフ場ストップを果たした愛媛県弓削島から電話がありました。「(海底送水管で水をもらっている)広島県の沼田川の水源が干上がり、1日20時間断水が続いています。最近、あちこちから「ゴルフ場ができなくてよかったね」の声が届き、皆さんに感謝しています」とのこと(9月中旬現在、断水は解消しています)。

この「感謝」は、5,000人を越える瀬戸内トラストのオーナーの皆さんに受けとっていただきたいと思います。

私の住む今治も15時間断水が続いています。主婦の私は「子供もいっしょに水のことを考える良い機会だ」と思ったりしますが、家業のタオル製造業には支障が出て来始めました(今治市は工業用水100%カット)さらに、お年寄りや障害者の家庭の困難は想像に余りあります。

「環境か経済か」二者択一を考えた時代は終わりました。自然が守られなければ経済さえ成り立たないこと。人の生存が今、崖っぷちに立たされていることを想います。「立木バンク」で、時代への新たな投げかけをオーナーの皆様といっしょにしてゆけたらと思います。(阿部)

瀬戸内トラストニュース 第8号

1994年 9月30日発行

「環瀬戸内海会議」代表 阿部 悦子 ☎794 今治市別宮町 9-7-4

TEL (0898)32-0100

広島事務局「森と水と土を考える会」☎733 広島市天満町 9-8

TEL・FAX(082)296-1444

(1部 100円)